

# Star Fish Journal

## 2012年8月アーカイブ

### ソラマチ

tsuji (2012年8月29日 17:44) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

少しか、大分か、離れたところから、、、



昨日天気が良くて、(例えば)富士山がくっきりと見えただけヒュー・ジャックマンさん私の家か私見えましたが?と聞いても、もちろん、小さすぎますし、分かりません。(もちろんここからも)ツイッターなどで実際に登っているのが分かったと仮定しても。



結構色んなところから高く見えたんですが、ここからこの日は富士山らしき方は雲で細部でなく全体もあやふやです。上を飛ぶ飛行船を真横か下に、ビックエッグを見たり観覧車の見える海岸沿いなどを一望できました。



### カテゴリ

#### 月別 アーカイブ

[2012年9月 \(6\)](#)  
[2012年8月 \(5\)](#)  
[2012年7月 \(6\)](#)  
[2012年6月 \(7\)](#)  
[2012年5月 \(4\)](#)  
[2012年4月 \(6\)](#)  
[2012年3月 \(6\)](#)  
[2012年2月 \(6\)](#)  
[2012年1月 \(8\)](#)  
[2011年12月 \(9\)](#)  
[2011年11月 \(5\)](#)  
[2011年6月 \(3\)](#)  
[2011年5月 \(1\)](#)  
[2011年3月 \(1\)](#)  
[2011年2月 \(4\)](#)  
[2011年1月 \(7\)](#)  
[2010年12月 \(6\)](#)  
[2010年11月 \(4\)](#)

#### ウェブページ

[このブログを購読](#)

POWERED BY  
**MT5**  
MOVABLE TYPE®

### 検索

#### このアーカイブについて

このページには、**2012年8月**に書かれたブログ記事が新しい順に公開されています。

前のアーカイブは[2012年7月](#)です。

次のアーカイブは[2012年9月](#)です。

最近のコンテンツはインデックスページで見られます。過去に書かれたものは[アーカイブのページ](#)で見られます。



下から垂直に上がってきて、窓に沿い、ソラカラちゃんの案内で、あと5m登ります。人が登れる最高到達点で、山でなくビルとすると、数百年経ったり地震や地盤で傾いてないとする、フロアのどこかと思ってしまうのですが、天望回廊の足元や壁の曲線美、スロープになっています。



お客さんが風景を楽しめるよう窓ガラスを、開けたりして物や人が飛んで行ったりはまずいので、綺麗に保つ仕事をしていました。立方体の高層ビルでない、ゴンドラを動かしての作業や怖さなど想像が付きません。



事前に予約がなくても登れるぐらいにはなつと聞いて、東京スカイツリーに初めて来ました。整理券に少し並んで、指定時間前に戻ってきて、そこから一時間くらい並ぶぐらいです。その間の待ち時間に東京ソラマチを見て回ったり、時間帯でしたので、昼食をいただきました。入っているレストランの待ち椅子が占有状態で整理券の時間まで間に合いそうにありません。フードコートで、なんとか座りいただきました。(玉子たっぷりオムハンバーグ)



だいぶ前に業平橋の辺りに来た時には羽子板、江戸小紋など様々な職人の仕事場を見て回ったりして、外に出てそのあたりを案内所のお姉さんに教えてもらおうと、ソラマチにも入っていて、あるという商店街まで川を渡り歩いて行こうとしましたが、夕闇も迫ってきますし、遠くなかったけど迷いそうで、引き返し、ばな奈ツリーって、名前とかあと腐るのか、大丈夫か少し心配でした。

## 登美の丘

tsuji (2012年8月27日 16:37) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

ワインナリーを見に行く電車の中で、ハーフの子供さん2人を連れているお母さんと英語で話しました。ビールはブリウリー(ブルワリー)と分かってました。アイルランド出身という彼女にダブリンではどこへ行ったかや知っていることなどについて聞かれました。大学を見に行っただか、U2、Corrsなど話してウイスキー製造所は何というのか英語では知らなかったので反対に質問しました。だいぶ、前の話ですので、屋に飲んだ炭酸入りのロゼのワイン名やその英単語を思い出させません。



ネットで調べてみるとディスティラリーで、辞書で発音の音を出してみてもこれだったと思います。

彼女たちは駅の反対側のショッピングモールに向かうということで、別れました。

駅の構内に1台止まっていたタクシーを拾い山の方へ。(もしかするとどっちの方に行っても山なのかもしれませんが) 帰りもタクシーを、その時はサントリーの方に呼んでもらい、見学から待たずに、乗ったのですが、迎車料金を取られませんでした。



運転手さんと行き帰り話して、営業区域以外は載せていけないのは知っていたのですが、潮崎や甲府の駅の前に入るのにも会社が決まっています、他の会社は入れないということです。

先ほどの方はどこだったかお蕎麦屋さんに嫁いだというのが、タクシーの運転ちゃんからの情報ではあります。

ワイナリーも契約があるのでしょうか。行きか帰りか別会社(である韭崎?)のタクシーにも乗りました。2、3百円、料金は違いました。



真鯛のバルサミコソース

ワインセラー見学ツアーとぶどう畑見学ツアー、時間は事前に問い合わせ両方見れることは聞いていましたが、料金(無料)や予約は(守衛さんにあるかと聞かれ、ありませんが、電話して両方見れますと聞いていたと告げた)聞いていませんでした。受付のお姉さんにツアーの開始時間、送迎バスのこと、昼食、お土産、帰りのタクシーなど丁寧に教えてもらい、レストランワインテラスに、途中、この時車で初めてだったスイッチバックをして、登りました。



ワインショップで試飲や買い物をして、ワイン醸造所までまた降ってきて、他のお客さんと合流してワインセラー見学ツアーに参加しました。破碎・压榨、発酵、樽・タンク熟成、瓶熟成。樽のまま置いておくのと、瓶に入れて寝かせかたにも、また製品として混ぜたりするのも様々です。

歴史を紹介したパネルには、痩せた土地を好むことや確か害虫や、水はけの問題もあり、かなり苦労したことを知ることができました。雨が少ない、日照時間が長い、昼夜の寒暖差があることが栽培に適した条件ということです。



ヒンヤリとしたところを抜け、私以外畑の方は既に見学を終えていたので、バス貸切状態でぶどう畑に向かいました。南斜面に広がり植えられた様々な品種。ちょうど私が訪れた畑にも、一年で何日かしか咲かないぶどうの花が咲いていました。畑に入る時にくまんバチがいて注意を払いましたが、受粉にはミツバチなど昆虫を媒介するという事はないそうです。



ワインの木を育てるのにも、長年を要しますし、寝かせるのもワインによっては掛かります。新しい商品を作るのに、ワイナリーで仕事を始め、完成品を出荷までに、年月をかけてするので、何回もできる訳ではないと思い、仕事への関わり方をガイドさんに聞いてみました。



駅では、スイカをタッチしてホームで待っていると電車が30分だか遅れていることを知り、待ち時間と入場記録で、来た時の話から反対側に歩いていってみることもしませんでした。結局さらに30分待って、長い時間が係る仕事のことを考えていたというより、高校生の女の子同士の会話のなか、ほけっと過ごして甲府方向に戻りました。

## 東突外

tsuji (2012年8月20日 07:14) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

結局駅までそんなに走らなくても良く、少しまだ余裕はあった時刻でした。乗り換えを検索して見るのに色々違う路線を見てる場合でなかったです。そこを乗り過ごす、昼前に銚子に着かないことになってしまいました。直前まで仕事や用事があり、当日に

予定を決める場合でも、少し早起きするか目覚めてすぐにネットで目的地までの旅程と時間を把握する必要があるでしょう。



このイラスト(+ )の家がたくさんある方から飛行機の方を通って、図の出っ張った先が光る岬を目指したので、東京湾の海を見ずに、列車はきました。



犬吠駅に到着し、昼を探しました。ガイドとか駅近くの張り紙もありましたが、店でこの魚を売りにしている様で、きんめ丼をいただきました。



少し距離を置いたところからも見えるのですが、犬吠埼灯台にだんだんと近づき、



99段と鉄製の階段を何段か登り  
(九十九里にちなみ)



灯台上から上の雲と下で海を見る人の様子です。



階段を降りると、初代犬吠埼灯台レンズを何枚も写している人もいました。



卵から生まれたマリパークのや金のお堂のお寺を通り過ぎ、地球の丸く見える丘展望台の方へ。丘で高い所にあるということは、坂をかなり登ることになりました。



360°のパノラマ。こちらの方角はポートタワーです。ここは営業時間はありませんが、日の出は美しく、近くのホテルに泊りがけなら、水平線から徐々にせり出すところが見られるということです。



風力発電も盛んなようです。

めざせ！銚子ジオパークの展示も。



日比友愛の碑

高山右近について途中で荷物が重くなり  
座ってスマートフォンで検索。

高槻城主だったころは、父の代から  
教会は多く寺社は少ない様ですが、  
今、地図を見てみると、教会も寺、神社も  
ある様です。



そんなこと(戦国時代の天下人や領主が  
信仰、追放した宗教との関わりあいなど)  
を考えながら、歩道がないので山道のカーブ  
でトラックを注意して、きた道をくんだり  
犬吠駅まで戻りました。



夕方になってしまい、この時間にまだ開いて  
いるところもあまりないように思われました。  
観音駅で降りて、圓福寺(飯沼観音)へ  
行きました。ほととぎす 銚子の国は  
とつばずれ(鈴木金兵衛夫妻)



728年に利根川の河口から漁夫により十一面観音が拾い上げられたのが寺の起源だそうです。



電車を降りた駅の前からですが、ペットボトルのお茶が欲しくコンビニを探しながら、銚子港まで来ました。



暗くなりかけた広い河口に架かる銚子大橋と波崎(神栖)側を対岸に。

電気鉄道に乗り銚子駅に戻ってきた時には新宿へ向かう特急もJRのホームに止まっていました。この日は発車時間が合わなく、時間帯に拠るのですが、そちらの方を使った方が速いこともあります。他の経路も含めて、電車の本数が都心のようにでないこともあり、この日の夕方は、その合間を使って、醤油で有名な街の涼麺専科トマトバジルのつゆと、醤油派にもソース派にもフライ専用のタレ、あと玄米あげもちを、改札から出て歩き見つけた物産店で見付けお土産を追加しました。

## 初音の森

tsuji (2012年8月14日 19:52) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

いつもならこのあたりには地下鉄ですが、券売機の上の値段を見てみると、スイカにひびが入ってしまいICチップだか磁気が破損してしまったので、たまたま値段的にも安かったこともあってこちらまで買いました。



駅舎とりボンハートとスカイツリー、  
ちょうど写す前に成田方面の電車が通り  
過ぎてしまい、待っていても来なかったの  
で、そちらの色が入ったの街の様子を  
収めることはできませんでした。



タやけだんだんから、下で通行人の  
方の話から、聞いてみると、  
落語のお祭りをしていると知り、  
そちらのほうへ。  
ちょうどこのひみつ堂がはってあるところ  
を左折しました。  
先ほどのクレジットカード一体型に変えた  
ときのと、思えば関係ありました。  
この日は暑く、帰りに混んでいたの  
で、谷中銀座の端のほうで  
ブルーハワイは買いました。

岡倉天心記念公園を通り過ぎ、  
圓朝まつり会場に到着しました。  
お宝オークションや募金など  
東日本大震災への義援金を集めたり、  
落語家や芸人のステージ、出店も複数で  
交流が図られています。



#### 酔鼓連

10:00

挨拶

大神楽 鏡味仙三郎社中

神楽舞 林家正雀一座

11:00

柳屋市馬歌謡ショウ

道場やぶり(腕相撲)柳屋権太一門

12:00

三K辰文舎ライブ

(橋家門左衛門 入船亭扇辰 柳屋小せん)

東日本大震災復興支援オークション

13:00

ものまね 金原亭世之介

函館の女 篠原流家元 桂才賀

道場やぶり

14:00

黒門亭クイズ王

[住吉踊り](#)

閉会の辞  
三本締め  
司会 林家ぼたん



白い紙で覆われた人の背丈ほどの箱(函)と  
最後の方に手錠

舞台袖から有名な話家が座布団に  
座り挨拶するまでのそれぞれのものまね

サンフランシスコから来たという  
男性2人(の客)と話していて、  
ここにどうして(どう知って)来たのか  
尋ねると、相手も同じようなことを質問  
してきました。

アイ ハブンド トゥー ...

と答えられたようには思いますが、たぶん  
会話で使ったことのない表現でしたので、  
あとで辞書で確認をする必要がありました。



この後は、  
商店街やセレクトショップ？など  
水で休憩しながら周り、



大名時計博物館の方にいきましたが、  
夏季休業中で、お寺の間を抜けながら  
旧吉田屋酒店は閉館前で、  
シャッターみたいな下ろす木製の  
閉める少し前でした。



愛玉子を店に入りいただきました。  
台湾の方や二人の子連れ日本人  
と女性が入ってきて  
日曜日なのに公共機関？の彼女から  
なにやら制度を説明を受けていたりして  
店内が満員になってしまいところ狭しといった  
感じでした。本国ではオーギョーチは  
よく食べられているのでしょうか。

この日は季節外れですが、  
桜並木を抜けて、駅へと帰路へつきました。

## 七条から九条の辺り

tsuji (2012年8月 8日 15:25) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

この日はホテルから、朝食を摂り市役所前から  
地下鉄に乗って出て、散歩しました。



■東本願寺

京都駅のすぐ側ということもあり、京都タワーが間近で  
みられます。この日は工事をしている最中だったので、  
お寺の美観に覆いや機材、車両といったものが写真にも  
入ってしまいますし、あまりよく見られませんでした。



教えも読んでみました。

自分にとって良いことを追い求め、都合の悪いことを避け  
ようとするのが人間の性分です。しかし、良いことだけを  
追い求める生き方は、必ず悪いことを恐れるようになり、  
悪いことが続くと、自分の人生までも呪ったりします。

あらゆることを自分中心にしてしか考えない私たち。人を  
踏みつけ、傷つけ、時として殺しあって、人間であることを  
見失っている私たちに、人間であることを回復せしめます。



### ■西本願寺

オーストラリアから来た家族の息子さんたちと話したり、アジア(中国とおもわれる)からの団体さんがツアーで回った後で塀のところが開いていた飛雲閣の庭園に30秒ほど入れてもらいました。



同じというところか関係とかも訪れる前はあまり分からなかったので少し調べてみました。

本願寺は比叡山衆徒によって破却されました。その後山科本願寺に移りましたが六角定頼や日蓮衆徒によって焼き払われました。そこで大坂石山に寺内町を整備して発展の一途をたどりました。天下統一を目指す信長と、大きな社会勢力となっていた本願寺の勢力は各門徒衆と共に、11年にわたり石山戦争を戦い抜きましたが、各地も破れて顕如上人は和議を結び紀伊鷺森に移りました。その後、和泉貝塚を経て、秀吉の寄進で大坂天満へと移り、七条堀川(現在地)へとなりました。石山戦争の徹底抗戦を主張した教如上人は1602年に家康から烏丸七条に寺地を寄進されて、これ以降、本願寺は西と東に分立されることとなりました。



その後、道の向かいにあって、年齢はどれぐらいでしょうか女性ばかりがたくさんいる(定員の方に聞くとツアーということでした)お漬物屋に立ち寄りしました。



### ■東寺

現在唯一残る平安京の遺構で、国立の寺院です。弘法大師に託され、密教寺院として発展しました。私が訪れた時には駐車場の東門方から入ったのですが、拝観料を払う前にまず行ったところが(意図した訳ではないのですが)御影堂でした。朝6時に一の膳、二の膳、お茶とお弘法大師が住んでいた時と同じようにお供えするそうです。



金堂や講堂内は撮影は禁止されています。パンフレットに並んで写真のある国宝の、梵天、帝釈天、不動明王を探しましたが、帝釈天はすぐにあつて、数多くの中であとは見つけるのが大変でした。写真に写されたものと実際の仏像を目で見たのでは表情が大分違っていたので、どんなことを考えたり感じたりしているところを表しているのかや私に与える印象などもっとゆっくりとその場においてもよかったです。

道の途中で、以前にはなかったイオンモールや、近鉄名店街に寄りながら八条口へと向かいました。

[« 2012年7月 | メインページ | アーカイブ | 2012年9月 »](#)

Powered by [Movable Type](#)